

平成23年3月15日

小松橋修繕計画について

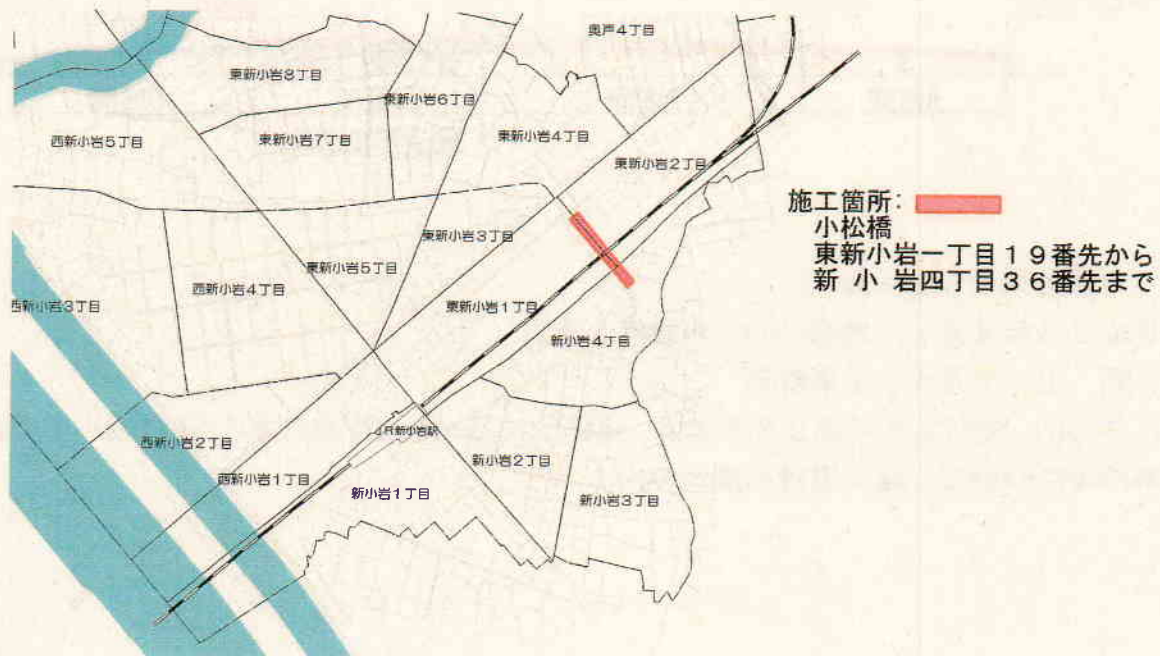
1 計画の背景と目的

本区が管理する橋梁は、昭和30年、40年代に多く建設され、橋梁の高齢化が進んでいる。このままでは近い将来、一斉に更新時期を迎え、大規模な改修工事や架け替え工事が集中し、車両の通行止めや重量制限などの交通規制を招くとともに、多額の財政負担が生じる。

そのため本区では、定期的に損傷を点検し、早期に補修して多額の費用がかかる架け替え時期を延ばすため、国の「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱」に基づき、橋梁長寿命化計画(案)を作成し、平成21年第3回定例会の本委員会において報告し、橋梁の長寿命化に向けた修繕計画を進めている。

その中で、修繕を要する最優先橋梁と判定された小松橋について、今年度、実施設計委託を行い、修繕計画が定まったので報告するものである。

2 案内図



3 施工延長及び施工期間

施工延長 262.5m

施工期間 平成23年度～平成27年度(5箇年)

4 年次別修繕内容

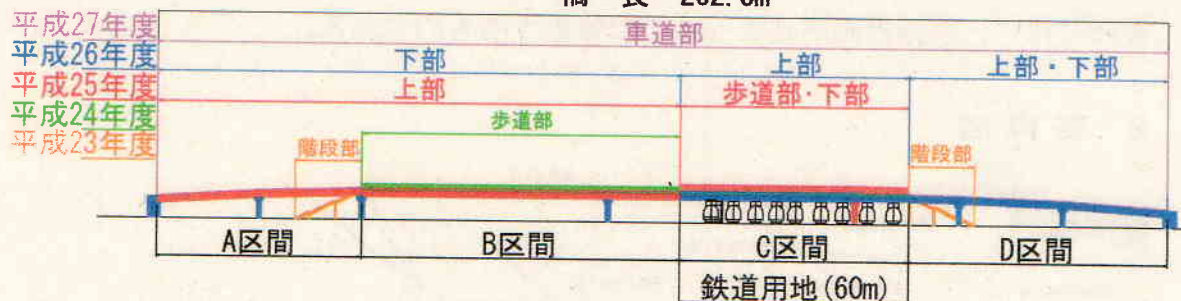
平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A・D 区間 階段部	B 区間 歩道部	A・B 区間 上部	A・B 区間 下部 D 区間 上部・下部	A~D 区間 車道部
		(JR 委託予定工事) C 区間 歩道部 下部		

図-1

至 東小岩一丁目、二丁目

至 新小岩四丁目

橋 長 262.5m



5 今後のスケジュール

平成23年4月～ 地元への工事説明を実施

同 上 7月～ 工事着手

さらに、並行して平成23年度は、道路法に基づき JR 東日本、JR 貨物への委託工事内容について、施工協議を重ねていく。